

名古屋ライトハウス

アイのかけはし

第12号 平成24年7月

発行責任者

社会福祉法人 名古屋ライトハウス

理事長 本間 英典

〒 466-0855

名古屋市昭和区川名本町 1-2

TEL 052-757-3522

FAX 052-757-3533



Vol.
12


理事長あいさつ..... 2

平成 23 年度 事業報告 3

平成 24 年度 事業計画 5

各施設の近況..... 6~12

助成事業に関する報告.....12

 社会福祉法人
名古屋ライトハウス

表紙写真

緑風の光景

理事長あいさつ

梅雨も終りかけ、くっきりとした雲間からの陽射しは日に日に強く眩しくなり、本格的な夏の到来を感じる季節となりました。

私ども法人は今年で創立66年を迎えることとなりました。終戦直後の混乱期の中、近藤正秋と片岡好亀が中心となり、愛知県盲人福祉協会としてうぶごえを上げて以来、「ひとりの幸せのために」を旗印に障害のある方が安心して暮らせる住まいの場と生活するに足る工賃を支払える職業の開発に邁進して参りました。

当法人は、その名称の通り視覚障害者の自立と福祉増進のために発足いたしましたが、現在においては、障害児から高齢者まで幅広い福祉サービスを提供しております。昨年4月には中川区において障害者支援施設「戸田川グリーンヴィレッジ」を新規開設、千種区において就労継続支援事業B型「緑風」が名古屋市より運営を譲渡される形で開設し、10月には障害者雇用促進法に基づく「海部障害者就業・生活支援センター」を愛知県津島市に開設し、海部圏域における障害者就労支援の前線窓口として機能しております。今年度においても障害者相談センター（相談支援事業）を光和寮、港ワークキャンパス、明和寮、戸田川グリーンヴィレッジの4拠点に開設し、施設と地域における相談支援機能の強化に努めております。また、変動する諸制度の中で方向感を失わず事業の活性化を図る指針として「名古屋ライトハウス3か年計画」を策定し、それぞれの施設・事業の運営計画と具体的目標を明確にしたところです。

今年度10月施行予定の障害者虐待防止法、障害者自立支援法に代わる障害者総合支援法、障害者差別禁止法の議論など、10年以上にわたり日本の福祉制度はめまぐるしく改革が進められ、現在もなお継続中です。この3月には介護保険、自立支援報酬の見直しが行われ、施設運営面からは大変厳しいものとなりました。諸制度への柔軟な対応、法人全体の組織力強化など、諸課題は山積しておりますが、皆様のお力もお借りし、ひとりの幸せのために尽力していきたいと思っております。

理事長 本間英典

平成 23 年度 事業報告

I 本部

1. 諸会議

- ア 理事会の開催状況 (計 7回)
- イ 評議員会の開催状況 (計 5回)
- ウ 部長会(施設長会)の開催状況 (計 12回)

2. その他

- ア 愛盲報恩会事業
 - ・助成事業 24団体 1,260,000円
 - ・第6回近藤正秋賞、片岡好亀賞、地域活動特別賞贈呈式 平成24年3月25日
- イ 国兼基金事業
 - 物故者慰霊祭 平成23年10月15日
- ウ 海部障害者就業・生活支援センター開設(津島市天王通) 平成23年10月1日
- エ 同 開設により法人所管が名古屋市から愛知県となる
- オ 緑風 大規模修繕工事の実施および完了
- カ 東日本大震災の支援のため全社協ならびに日本障害フォーラムを通じ職員16名を被災地にそれぞれ7~10日間派遣
- キ 名古屋ライトハウス3ヶ年事業計画(平成24年~26年)を策定
- ク 職員研修
 - ・平成23年度 職員研修会(名古屋国際会議場) 平成24年3月3日

3. 会計手続について

- ・戸田川グリーンヴィレッジ(準備)特別会計を、事業開始にあたり社会福祉事業会計に編入した。
- ・名古屋市緑風荘事業譲渡にあたり、緑風経理区分を就労支援事業会計に編入した。
- ・海部障害者就業・生活支援センター事業委託にあたり、公益事業会計に編入した。

II 光和寮

当年度においては、各事業のサービス向上と実績向上を図ってきた。

特にカイドネットあいさばーとにおける稼働時間のアップを推し進め、また、生活介護及びクリエイト川名の稼働率の向上に努めてきた。さらに就労移行支援事業における就職率と職場定着率の向上を進めてきた。

光和寮全体としてのサービス向上に努めることで、地域における必要な資源として確立されることを目標としてきた。制度が刻一刻と変化する中で、柔軟に対応し地域や養護学校との交流を深め、広く障害者福祉に関する情報発信にも努めてきた。

III 明和寮

当年度、「明和寮」拠点においては、10月の「海部障害者就業・生活支援センター」の立ち上げ、当年度末で福祉ホームへ移行する「施設入所支援」の対応、平成24年4月より「児童デイサービス」から「放課後等デイサービス」へ移行するための準備、同じく「指定相談支援事業」の立ち上げ準備等、事業編成に追われ気味であった。

このような状況の中、当初予算に対して「施設入所支援」・「児童デイサービス」は未達成であったものの、拠点全体としてはほぼ達成できた。

また、開設30年以上経過した明和寮の建物・設備の老朽化に対して、食堂の改装・井水から市水への変更工事・浴室の壁面修繕・福祉ホームの居室の改装(2室)等々を実施した。

IV 港ワークキャンパス

就労継続A型事業は、大きく2つの視点の取り組みを行った。1つ目は、「3つの支出の低減」と称し、①材料費の低減②不良率の低減③段取り時間の低減を徹底的に実施してきた。2つ目は、減員された職員の役割変更や業務の整理など多能工化を目指し、職員が一丸となり前進できた一年であったといえる。その結果、材料費・人件費の削減にて約5,000万円強の改善実績が出ており完全黒字化の目処が見えてきている。

B型事業は、前年度末に起きた東日本大震災以降、防災意識の向上により受注量が大量に増え、それに伴う新規得意先の獲得に加え、休眠中で暫く取引がなかった得意先が一気に目覚めた等、昨年の上対比では約9,000万円アップ(昨年比2.5倍)の結果となった。

V 緑風

名古屋市から事業を引き継ぎ1年が経過した。旧緑風荘から継続して利用をされている8名の方にも満足してご利用をいただいている。利用者数は、地下鉄本山駅までの送迎や、短時間利用を希望される方の受入れ等を進めた結果、年度末には16名となった。

名古屋市からの移管にともなった大規模修繕工事は、事業を運営しながらの工事であり、配慮を要する点が多々あったが、年度内に無事に完了した。

VI 戸田川グリーンヴィレッジ

4月に施設入所支援と生活介護40名定員で新規開設し、段階的に利用者の受け入れを行い、途中3名の退所(死亡2名・家庭復帰1名)があり、3月には入所は97.9%、生活介護は108.8%の稼働率で推移した。

4月末には職員総数31名(内、生活支援員19名・看護師2名)だったが、3月末には50名(内、生活支援員30名・看護師3名・作業療法士1名)となり、安定的な運営ができるようになってきた。年間を通して介護職の採用と育成は課題で、施設内外での研修実施とフォローアップの体制整備を進めた。

6月より短期入所(ショートステイ)8名の受け入れを開始し、3月には66.1%(1日平均5.3名)の稼働率となった。どの事業も順調に推移している。

VII 名古屋盲人情報文化センター

創設51年目となり新しい気持ちでスタートした1年であった。若干の職員減の中であったが、職員間の協力体制を密にするとともに、業務内容の精選をはかり以下の成果を収めることができた。(以下抜粋)

1. 貸出システムの構築

平成20年度に完成した図書製作管理システムに連動する貸出システムの構築に取り組み、平成24年4月より、本格運用を開始する。

12月末からの図書館業務休業で利用者が被る不利益を少しでも減らすため、愛知・岐阜・三重の視覚障害者情報提供施設に協力を要請し、機関誌、ホームページ、社内掲示で告知を行った。

休業期間中もサピエ会員がデータを利用できるよう、点字・録音(音声デジター)の新刊書のデータアップを行った。

2. 利用者および地域住民との交流事業

7月18日は、「みちしおまつり」を開催し約100名の利用

者が集まり、バザー、楽器体験、模擬店などが行われた。

10月23日に行われた港北公園での港区ふれあい広場へ出展し、点字・音訳体験コーナーを設け地域住民との交流を深めた。

11月13日に開催された第1回「ユニバーサル運動会」に共催団体としてかわり、130名の参加者がスポーツを楽しんだ。

Ⅷ 瀬古マザー園

当年度は、収入面での大幅な伸びが見込めず、経営的には厳しい環境下ではあったが、ナースコールの更新や小規模修繕の実施など、さらに厳しくなる次年度以降に備えた安心、安全面での対策の充実を図った。

また、当年度前半は各種研修への積極的な取組みが功を奏し、利用者への介護技術や接遇技術は着実に向上したが、後半に入り不慮の事故による長期休養者や離職者の続出により、大幅な人員補強を余儀なくされるに至った。

施設及び環境整備の面では、上述のナースコールの更新の他、玄関前庭、時計塔下庭の植替え工事及び東側通路の植栽工事を実施した。

資金収支決算書(法人合計)

(自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

社会福祉法人 名古屋ライオンズ (単位:千円)		合計	社会福祉事業	就労支援事業	公益事業	基金特別会計	共済等特別会計
収入	就労支援事業収入	684,303	0	684,303	0	0	0
	会計単位間繰入金収入	0	0	0	0	0	0
	経理区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業収入計	684,303	0	684,303	0	0	0
	就労支援事業支出	671,255	0	671,255	0	0	0
	会計単位間繰入金支出	0	0	0	0	0	0
	経理区分間繰入金支出	10,401	0	10,401	0	0	0
	就労支援事業支出計	681,656	0	681,656	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額	2,647	0	2,647	0	0	0
	介護保険収入	363,374	357,517	0	5,857	0	0
自立支援費等収入	918,362	421,648	496,714	0	0	0	
補助事業等収入	131,272	113,409	17,863	0	0	0	
利用料収入	354	371	0	170	0	0	
掛金収入	173,466	173,466	0	0	0	0	
定期的利用料収入	33,422	33,339	83	0	0	0	
視覚障害者情報提供事業収入	90,776	90,776	0	0	0	0	
経常経費補助金収入	239,343	202,432	26,667	10,244	0	0	
寄附金収入	2,635	471	0	0	0	180	
繰入金	56,434	22,181	34,144	105	0	5	
共済等特別会計収入	11,845	0	0	0	0	11,845	
借入金利息補助金収入	5,564	3,328	2,635	0	0	0	
受取利息配当金収入	13,558	468	84	1	10,307	2,698	
会計単位間繰入金収入	55,470	24,500	19,200	11,770	0	0	
経理区分間繰入金収入	44,000	44,000	0	0	0	0	
福祉事業収入計	2,140,928	1,489,885	597,862	28,146	10,307	14,728	
人件費支出	1,335,020	945,040	358,214	14,645	0	17,121	
事務費支出	247,455	169,149	69,047	5,285	1	3,973	
事業費支出	264,447	225,389	37,398	0	0	1,260	
借入金利息支出	9,813	5,504	4,309	0	0	0	
会計単位間繰入金支出	55,470	11,770	24,500	0	19,200	0	
経理区分間繰入金支出	44,000	44,000	0	0	0	0	
福祉事業支出計	1,956,203	1,400,852	493,869	19,930	19,201	22,354	
福祉事業活動資金収支差額	184,723	89,034	103,993	8,216	-8,893	-7,626	
施設整備等補助金収入	81,022	5,000	76,022	0	0	0	
施設整備等寄附金収入	2,779	371	2,408	0	0	0	
固定資産売却収入	271	271	0	0	0	0	
施設整備等収入計	84,073	5,648	78,424	0	0	0	
固定資産取得支出	145,681	28,310	114,631	2,740	0	0	
施設整備等支出計	145,681	28,310	114,631	2,740	0	0	
施設整備等資金収支差額	-61,608	-22,662	-36,208	-2,740	0	0	
借入金収入	12,800	0	12,800	0	0	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0	
借入金元金償還補助金収入	17,864	5,575	12,288	0	0	0	
積立預金取崩収入	19,000	16,500	2,500	0	0	0	
その他の収入	4,967	4,591	377	0	0	0	
財務収入計	54,631	26,666	27,965	0	0	0	
借入金元金償還金支出	32,386	10,724	21,662	0	0	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0	
その他の支出	597	325	272	0	0	0	
積立預金積立支出	23,000	0	22,100	900	0	0	
流動資産評価減等による資金減少額等	12,817	55	8	0	11,591	1,163	
財務支出計	68,800	11,104	44,042	900	11,591	1,163	
財務活動資金収支差額	-14,169	15,562	-16,077	-900	-11,591	-1,163	
当期資金収支差額合計	111,593	81,934	54,356	4,576	-20,485	-8,789	
前期末支払資金残高	1,396,187	447,326	356,768	3,966	305,910	282,218	
当期末支払資金残高	1,507,780	529,259	411,124	8,542	285,425	273,429	

貸借対照表 (法人総合計)

平成24年3月31日

法人名：社会福祉法人 名古屋ライオンズ

(単位:千円)

資産の部								負債の部							
	合計	社会福祉事業	就労支援事業	公益事業	基金特別会計	共済等特別会計		合計	社会福祉事業	就労支援事業	公益事業	基金特別会計	共済等特別会計		
【流動資産】	1,714,666	568,204	569,173	9,573	285,425	282,290	【流動負債】	238,648	93,879	142,570	2,127	0	72		
現金預金	651,822	389,860	227,750	3,070	23,954	7,188	買掛金	52,751	4,222	48,530	0	0	0		
受取手形	40,373	0	40,373	0	0	0	未払金	101,605	33,034	67,524	975	0	72		
売掛金	136,614	4,969	131,646	0	0	0	預り金	2,280	1,576	648	56	0	0		
商品・製品	6,355	3,952	2,403	0	0	0	前受金	1,313	113	1,200	0	0	0		
原材料	34,521	0	34,521	0	0	0	未払工賃	3,224	0	3,224	0	0	0		
有価証券	525,837	0	0	0	252,076	273,761	賞与引当金	75,488	54,934	19,458	1,096	0	0		
未収金	264,516	166,567	91,445	6,503	0	0	徴収不能引当金	1,987	0	1,987	0	0	0		
未収補助金	42,521	1,909	40,612	0	0	0	【固定負債】	805,178	416,940	265,737	1,125	0	121,376		
立替金	338	338	0	0	0	0	設備資金借入金	542,532	360,666	181,866	0	0	0		
前払金	1,032	608	423	0	0	0	長期運営資金借入金	60,000	0	60,000	0	0	0		
預け金	10,737	0	0	0	9,395	1,342	退職給与引当金	76,404	51,407	23,871	1,125	0	0		
【固定資産】	2,979,369	1,771,901	1,202,598	4,870	0	0	従業員退職共済引当金	121,376	0	0	0	0	121,376		
(基本財産)	2,144,117	1,310,627	833,490	0	0	0	功労金引当金	4,867	4,867	0	0	0	0		
建物	1,793,519	1,214,727	578,792	0	0	0	負債の部合計	1,043,826	510,818	408,307	3,252	0	121,448		
土地	350,598	95,900	254,698	0	0	0	純資産の部	1,670,840	1,171,121	763,813	1,125	0	160,922		
(その他の固定資産)	835,253	461,275	369,108	4,870	0	0	【基本金】	1,035,937	667,888	368,049	0	0	0		
建物	120,785	71,791	48,994	0	0	0	【国庫補助金等特別積立金】	1,003,555	713,041	290,514	0	0	0		
建物付属設備	210,954	148,430	60,150	2,374	0	0	【その他の積立金】	130,820	62,961	66,959	900	0	0		
構築物	36,624	27,712	8,861	51	0	0	移行時特別積立金	29,040	2,897	26,143	0	0	0		
機械及び装置	115,605	2,823	112,782	0	0	0	就労事業運営資金積立金	5,516	0	5,516	0	0	0		
車両運搬具	22,459	9,626	12,834	0	0	0	人件費積立金	13,300	13,300	0	0	0	0		
器具及び備品	90,325	77,327	12,878	120	0	0	修繕積立金	23,115	5,215	17,000	900	0	0		
敷金	1,485	1,485	0	0	0	0	備品等購入積立金	28,151	28,151	0	0	0	0		
保証金	883	440	143	300	0	0	施設整備等積立金	13,399	13,399	0	0	0	0		
ソフトウェア	3,969	2,406	1,564	0	0	0	設備整備等積立金	8,000	0	8,000	0	0	0		
その他固定資産	40	0	40	0	0	0	工賃変動積立金	10,300	0	10,300	0	0	0		
投資有価証券	20,034	0	20,034	0	0	0	【次期繰越活動収支差額】	1,479,897	385,396	637,942	10,291	285,425	160,842		
措置施設繰越特定預金	26,699	26,699	0	0	0	0	(うち当期活動収支差額)	66,217	25,304	60,753	7,326	-20,485	-6,682		
移行時特別積立預金	29,040	2,897	26,143	0	0	0	純資産の部合計	3,650,208	1,829,287	1,363,463	11,191	285,425	160,842		
就労事業運営資金積立預金	5,516	0	5,516	0	0	0	負債及び純資産の部合計	4,694,034	2,340,105	1,771,771	14,443	285,425	282,290		
工賃変動積立預金	10,300	0	10,300	0	0	0									
設備整備等積立預金	8,000	0	8,000	0	0	0									
修繕費積立預金	23,115	5,215	17,000	900	0	0									
備品等購入積立預金	28,151	28,151	0	0	0	0									
退職共済預け金	76,404	51,407	23,871	1,125	0	0									
従業員退職共済預け金	0	0	0	0	0	0									
功労金預け金	4,867	4,867	0	0	0	0									
資産の部合計	4,694,034	2,340,105	1,771,771	14,443	285,425	282,290									
減価償却累計額	2,731,288	1,454,401	1,275,487	1,410											
(うち国庫補助金取崩額)	1,085,514	797,273	288,241												

平成 24 年度 事業計画

I. 法人本部

本年4月より実施される介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定により、全体として大きな減収となることが予測される中、障害分野では施設入所支援事業の福祉ホーム化や指定相談支援事業の開設など、いくつかの体制変更を図るため、より複雑な視点で経営状況を把握、判断していかなくてはならない。こうした状況を踏まえ、法人としては、前年度策定した3ヶ年計画の推進・管理、情報収集・発信力を中心とした本部機能の強化により、各事業の合理化を図りながら安定的な経営に導いていく。

II. 光和寮

これからの光和寮においては、3ヶ年事業計画を基に活動していく。まずは『健全な経営と共生・共働する光和寮』をスローガンに以下の視点で進めていく。

- ①各事業の収支安定と改善がされていること。
(収支の黒字化をする事で健全な経営と安定した体制作りをする)
- ②職員の教育体制が整っていること。
(様々な教育体制を構築する事で、継続した体制作りをする)
- ③利用者・職員が地域の中で共に働いていること。
(障害者の働くを追求していく)
- ④地域との結びつきが強固なものとなっていること。
(地域との結びつきを実感し、地域の一員となっていく)

III. 明和寮

当年度、拠点管轄の事業においては施設入所支援の廃業および福祉ホーム化・指定相談支援事業の開始等、拠点としての機能が大きく変化する。

拠点の3ヶ年事業計画の1年目として、障害福祉サービスの報酬改定の影響と今後の法改定の動向を見守りつつ、福祉拠点としてより機能できるよう組織力の強化と人材育成を図っていく。

また、施設整備に関しては、「美観の回復」をテーマに拠点全体の課題として順序立てて取り組んでいく。

IV. 港ワークキャンパス

事業の進むべき方向、速度、タイミングを計り生産体制、在庫管理、人員配置等の仕組みをダイナミックに改革していく年とし、高い工賃を目指す安定した事業運営を進めていく。利用者の適正な能力評価を実施し、士気の上がる賃金体系を運用していく。また、新制度に向けた新たな事業展開を模索し意義ある事業運営を進めていきたい。

V. 緑風

就労作業の取扱量は昨年度からほぼ倍増。引き続き取引先から信頼をいただき複数作業の受注ができるよう取り組む。また、利用者増にともなう作業量の確保と多様な利用者像に対応できる作業の創出に努める。

「毎日通えない」「午後だけ働きたい」「週の半分は趣味の時間にしたい」など、それぞれが望む様々な生活スタイルの実現のお手伝いができるよう、臨機応変な就労支援“あなたらしい働き方”を提供すると共に、就労面以外での支援の機会が増えることが予想されるので、様々な場面を想定し対応ができるよう、生活支援の質の向上を図る。

VI. 戸田川グリーンヴィレッジ

更なる人材育成と定着、生活（社会活動）環境向上、地域との連携に努める。4月より職員の増員を図りリハビリテーションの充実、栄養マネジメントの実施、班体制の再編等を実施していく。

利用者ニーズの把握をしながら個別支援計画に沿った支援を利用者と協働で進めていく。

介護・看護・セラピスト（作業・理学・音楽療法士）・相談・給食・事務部門が連携し合うことでチームワーク力を高めながら利用者にとって最善のサービス提供を実施していく。実態に沿った形で支援（業務）の枠を柔軟に変化させながらお互いが支えあい、成長し合える組織を醸成する。

指定相談支援事業を事業所内にてスタートし、施設利用者のサービス等利用計画の策定をはじめ、利用者やそのご家族の生活に必要な情報の提供や関係機関との連絡調整を行うことで、支援強化を行う。

VII. 名古屋盲人情報文化センター

平成24年度から26年度の3ヶ年事業計画の1年目として、方向性の確立を目指し事業の活性化、地域社会への貢献、職員教育、施設整備等に取り組んでいく。特に施設整備に関しては、電話機の取替と非常時館内放送設備の設置に取り組むとともに、トイレ改築、エレベーターの設置について検討を進めていく。

VIII. 瀬古マザー園

平成24年1月に厚生労働省から示された平成24年度介護報酬改定は、従来型施設にとっては大変厳しい内容となっている。デイサービスでのサービス提供時間や職員体制の見直し、あるいは特養での新たな加算の取得など、抜本的な対策を講じる必要に迫られており、打開策を目下検討中である。また、前年度は「利用者の安心と安全の確保」という最も基本的な命題に取り組んできたものの、時として不測の事態を招くなど決して万全とはいえない面もあったため、当年度も引き続き「安心と安全」意識の定着化を図るとともに、利用者が安心安全に過ごせる環境づくりを推進していく。

平成24年度 資金収支予算書（法人合計）

（自）平成24年4月1日 （至）平成25年3月31日 単位：円

勘定科目	合計	社会福祉事業会計	就労支援事業会計	公益事業会計	基金特別会計	非営利特別会計
収入	1,500,000	0	1,500,000	0	0	0
就労移行事業収入	881,347,000	0	881,347,000	0	0	0
就労支援事業収入計(1)	882,847,000	0	882,847,000	0	0	0
収入	2,200,000	0	2,200,000	0	0	0
就労移行事業収入	685,130,000	0	685,130,000	0	0	0
就労支援事業支出計(2)	686,530,000	0	686,530,000	0	0	0
収入	364,900,000	357,700,000	0	7,200,000	0	0
介護保険収入	1,017,205,000	497,739,000	519,466,000	0	0	0
自立支援費収入	97,775,000	84,454,000	1,321,000	0	0	12,000,000
利用料収入	420,000	230,000	0	200,000	0	0
排障費収入	171,000,000	171,000,000	0	0	0	0
協賛契約利用料収入	43,088,000	43,088,000	0	0	0	0
施設整備等費補助金収入	88,020,000	88,020,000	0	0	0	0
経常経費補助金収入	226,994,000	202,368,000	5,911,000	18,715,000	0	0
寄附金収入	2,870,000	2,690,000	180,000	0	0	0
雑収入	47,838,000	15,535,000	32,403,000	100,000	0	0
借入金利息補助金収入	7,132,000	4,372,000	2,760,000	0	0	0
受取利息配当金収入	15,600,000	477,000	109,000	14,000	7,000,000	8,000,000
会費補助金収入	51,484,000	20,590,000	6,000,000	4,984,000	20,000,000	0
経理区分間借入金収入	45,000,000	45,000,000	0	0	0	0
福祉事業活動収入計(4)	2,180,329,000	1,533,963,000	568,153,000	31,213,000	27,000,000	20,000,000
収入	1,445,716,000	1,014,186,000	398,165,000	23,385,000	0	10,000,000
人件費支出	221,745,000	155,175,000	65,906,000	7,843,000	0	2,851,000
事業費支出	273,468,000	227,805,000	44,163,000	0	0	1,500,000
借入金利息支出	9,545,000	5,487,000	4,058,000	0	0	0
会費補助金支出	51,484,000	27,400,000	24,084,000	0	0	0
経理区分間借入金支出	45,000,000	45,000,000	0	0	0	0
福祉事業活動支出計(5)	2,057,958,000	1,476,053,000	536,376,000	31,178,000	0	14,351,000
収入	122,371,000	57,310,000	31,777,000	35,000	27,000,000	5,649,000
施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入計(7)	0	0	0	0	0	0
収入	11,410,000	3,550,000	7,860,000	0	0	0
固定資産取得支出	11,410,000	3,550,000	7,860,000	0	0	0
収入	-11,410,000	-3,550,000	-7,860,000	0	0	0
借入金収入	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0
借入金金庫補助金収入	28,364,000	12,892,000	15,472,000	0	0	0
積立預金取崩収入	0	0	0	0	0	0
その他の収入	1,248,000	1,248,000	0	0	0	0
福祉活動収入計(10)	29,612,000	14,140,000	15,472,000	0	0	0
収入	43,580,000	22,452,000	19,128,000	0	0	0
投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0
積立預金積立支出	315,000	315,000	0	0	0	0
その他の支出	0	0	0	0	0	0
福祉活動支出計(11)	42,025,000	22,897,000	19,128,000	0	0	0
当期資金収支差額(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(11)	122,371,000	57,310,000	31,777,000	35,000	27,000,000	5,649,000
前期資金収支差額(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(11)	95,065,000	45,603,000	16,778,000	35,000	27,000,000	5,649,000
当期末支払資金残高(15)	1,484,875,798	504,484,599	387,606,403	6,968,004	293,709,950	292,106,844
前期末支払資金残高(15)=(14)	1,579,940,798	550,987,599	404,384,403	7,003,004	320,709,950	297,753,844

光 和 寮

今年度、就労継続支援事業B型の就業時間の短縮を行っています。「はたらく」と「くらす」をこれまで応援してきましたが、さらに「余暇」を加え「仕事」と「余暇」を充実しましょう！を合言葉に実施しております。時間短縮によって生まれる空いた時間に、クラブ活動が出来ればと考えています。現在はまだ思いつきの事（カラオケ・スポーツ吹き矢・マージャン等）を行っていますが、いずれはクラブ化も出来ればと考えています。

私たちの施設は街中にあり、交通の便も良いことから、たくさんの方にご利用いただきたいと考えています。地域の資源として、皆様に必要とされる為にはどうしたらいいのか？と日々模索しております。そんな中、養護学校からの見学等を積極的に受け、まずは施設を知っていただく、大規模な見学会から個人的な見学まで受付けています。最近では1回の見学に約80名の養護学校の生徒さん・先生をお招きしました。施設の見学をしてから、食堂で私たち職員と生徒さん・先生方と当施設の給食と一緒に食べました。楽しく会話をし、生徒さんからは色々な質問を受けたり、将来の夢を聴いたり、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

デイサービス部門では、利用者さんが創作活動の一環として作ったビーズ等を、バザー等で売り、利用者さんの社会参加等を促しています。自分が作っ

た物が、広く皆様に買っていただく事で、利用者さんは大変な喜びを感じています。中途障害の方は、現役の頃を思い出し「お客様は商品を手にとって喜んでいるかな」と商人さながらのコメントをされております。

光和寮は「くらす」・「日中の憩いの場」・「はたらく」まで、障がいを持った方が楽しく人生を送れるように支援できる事業が満載です。私たちが取り組めていない事でも、ニーズがあれば出来る範囲で可能にしていきたいです。これからも、様々な障がいを持った方の、転ばぬ先の杖になったり、時には道しるべになったりしながら活動していきます。



明 和 寮

「きらっとOneプロジェクト」目標100台達成!

明和寮では、平成22年11月より「きらっとOneプロジェクト」と称して、自販機設置の推進を行ってきました。利用者さんの工賃アップ、名古屋ライトハウスの理解者の増加を目標に、利用者さんと職員が一丸となって「ひとりひとりが営業マン」との自覚で、自主的に取り組みました。利用者さん夫婦で何回もラーメンを食べに行き設置を決めたり、毎日タバコを買いに行きタバコ屋さんを説得したり、車椅子使用の方が総合病院の事務局長にアポなしで交渉、後日担当職員が呼ばれ、「あの熱意に負けた」と職員食堂に他社から切り替え、設置が決まる等、毎日がドラマでした。そのお陰で一年間で64社・104台の設置ができ、大きな成果を出すことができました。この間お世話になった方々に心よりお礼を申し上げます。目標であった利用者さん工賃も平均1.34%アップできました。次年度より「社会貢献科」



が引き継ぎ、ご理解いただいた企業様を大切に、皆さんの思いを叶えていきます。

「海部障害者就業・生活支援センター」平成23年10月1日に開所!

通称「なかぼつセンター」!

法人史上初となる名古屋市外の事業拠点です。名鉄津島駅より徒歩2分と好立地の為、相談者や関連機関の覚えは良いようです。

業務は「就業」にまつわる相談と支援全般。最大の任務は「就職」と「職場定着」。

海部圏域を中心に中川・港区も対象とし、相談に始まり、就職後は企業訪問により安定的かつ継続的

な就業を図る為の支援を行っています。

開設から今日まで、この土地で私達は何を求められ、何ができるのか、日々手探りで活動してきました。現在約100名の登録を頂きましたが、特に精神障害の方が多く、最近では発達障害の方からの相談も増えつつあります。難しい相談が多いです。

求人少なさに加え、地域特有の問題も色々挙がっていますが、これらに向き合い、企業開拓を進め、家庭に眠る対象者の活躍の場を確保する事が責務と感じています。

今後は「就業するなら海部センター」と言われるよう、圏域内の雇用増進へ尽力します!



港ワークキャンパス

愛知県セルフセンター（金山駅・即売会）からの事業運営委託

今年度4月より愛知県セルフセンターから運営委託された即売会（金山総合駅内コンコース）を開始いたしました。障害をお持ちの方々が心を込めて作った商品、多種多彩なオリジナル商品や一般企業からの協賛商品を販売し期間中は金山総合駅を賑やかにしております。また、昨年7月より『がんばれ東北』キャンペーンと題して東北地方の施設の商品や岩手県物産品の販売を行い東北地方を応援し続けています。内容は以下の通りです。会場内の目印は「福祉の店OPEN」のぼり。お立ち寄り下さい！

①開催頻度：毎月3日間の開催。※不定期

②参加施設：毎回30～40施設が参加。



③商品：縫製品、木工作品・クッキー等の洋菓子・パンやお茶・せんべい・野菜・うどん・ハーブ入り入浴剤・石鹸等、雑貨など。

④売上：100万円以上。

⑤注目商品：「メッセージが出てくる花缶！」全国のロフトでも販売されている話題の商品を金山でも販売しています。“缶を開けて水やりするだけで” “部屋の中で” “育てる楽しみ” を味わえるフラワー缶で、大きくなると豆に『Thank』又は『LOVE』のメッセージが出てくる大変ユニークな商品です。詳細は (<http://ai-kan.jp/>)。

⑥イベント企画：『母の日プレゼントコーナー』『父の日プレゼントコーナー』『各施設夏にむけての一押しコーナー』等の特設コーナーを創り魅せる会場づくりをしています。

⑦今後の開催：8月21日（火）～23日（木）・9月18日（火）～20日（木）予定。

即売会は、売上追及だけでなく各施設との連携や皆様への情報発信の場として活用しています。港ワークキャンパスでも注文が殺到している『パンの花詰（非常食）』も販売しております。みんな待ってます！金山総合駅コンコースへ遊びに来て下さい！



緑 風

林の中から鳥のさえずりが聞こえてきます。冬の間はシジュウカラの鳴き声でしたが、春にはウグイス、初夏にはホトトギス、コジユケイの鳴き声も聞くことができます。

そんな自然に囲まれた緑風は千種区の猫洞通にあります。道路の向こう側は東山緑地。2分も歩けば平和公園という恵まれた環境です。

緑風は平成23年4月に名古屋市から事業を引き継ぎ、名古屋ライトハウスの4番目の就労施設（定員20名）として誕生をしました。旧緑風荘からの切り離し工事では利用される方々に大変ご迷惑をおかけしましたが、この3月に無事に完成いたしました。ご尽力をいただいた方々には改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

障がい別の利用者数は、身体10名、知的9名、精神1名となっています。初年度は8名からの事業開始でしたが、各方面への広報活動の結果、現在は20名となりました。今年度中には定員を40名に増員する予定ですので、さらなる事業の発展を目指し、社会的な役割が果たせるよう努力して参ります。

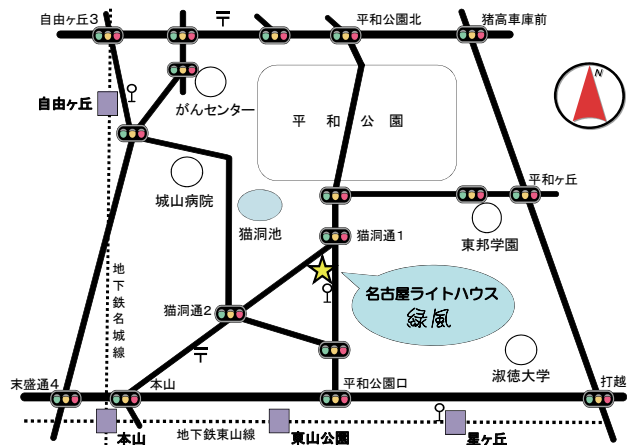


緑風が目指す就労継続支援は、「あなたらしい就労の場」「生活スタイルに合ったサービスの提供」です。その一環として、最寄りの地下鉄本山駅までの送迎サービスをおこなっています。これからもより多くの方に利用していただけるよう、“魅力ある緑風”を目標に様々な取り組みを進めて参ります。

今日も爽やかな風が木々の梢を揺らしています。ぜひ緑風にお越し下さい。利用者さんの笑顔がお出迎えをいたします。

社会福祉法人 名古屋ライトハウス

緑 風



地下鉄： 名城線/東山線「本山」駅より徒歩18分
東山線「東山公園」駅より徒歩18分

市バス： 星ヶ丘バスターミナル1番乗場より 自由ヶ丘行き
「猫洞通」下車すぐ（所用時間7分）
自由ヶ丘バスターミナル1番乗場より 星ヶ丘行き
「猫洞通」下車すぐ（所要時間10分）

戸田川グリーンヴィレッジ

日中活動

グリーンヴィレッジでは毎月「日中活動プログラム」を作成し、毎日午前・午後に活動を行っています。内容はスポーツ・創作活動・レクリエーション、音楽療法、機能訓練等となっており、各利用者さんに呼びかけて興味のある活動に参加してもらっています。ゴロバレー、ボッチャ、書道、水彩画、おやつ作り、カラオケ、DVD鑑賞などが人気があります。その他にもボランティアさん協力による組紐、パソコン教室、車いすダンス、施設菜園等も行われ、ボランティアの皆さんとの交流も楽しみの一つとなっています。各個人を対象としたリハビリ・音楽療法・外出なども実施しています。今後も利用者の皆さんの希望を活かし、内容の充実を図っていきます。



平成24年4月より待望の理学療法士が職員に加わりました。

リハビリテーションとは「再び適した状態になること」「本来あるべき状態への回復」を指します。脊髄損傷などの中途障害に対しては機能の再修復を目指しますが、この施設で最も多い先天性脳性麻痺の方は正常な動作を1度も獲得していません。リハビリも困難を極めます。その中で理学療法士として何が出来るのか試行錯誤している段階ですが、一番は利用者さんと真剣に向き合うことだと考えています。信頼関係を構築し利用者さんの希望をできるだけ尊重しその中で出来る事を1つでも増やすよう努めています。

8月までに作業療法士と分担して全員のリハビリを開始する予定です。個別に関わる事が出来る職種ですので、リハビリを利用者さんの生活の1つの楽しみになるように取り組んでいきます。



「戸田川グリーンヴィレッジに集って」

私たちが去年4月に入所してから、毎日の日中活動、夏祭りなどの行事、バイキング等のイベント食と数知れず色々な事を体験してきました。ふとある時、今私たちが見たり、感じたりしている事を何かしらの形として残していけたら、と思うようになり「戸田川の仲間」という新聞作りを始めました。おかげさまで毎月の発行を重ね、もう第7号になりました。これはひとえに仲間たちの理解と協力のたまものであると感謝しております。

これからも仲間たちと力を合わせて「戸田川の仲間」を通じて、心に響く生き活きとしたメッセージを発信し続けていければと願っています。

「戸田川の仲間」編集委員長 浅野美智恵



リハビリ・歩行訓練

名古屋盲人情報文化センター

用具展を開催しました

5月20日（日）に、「見えない・見えにくい方に役立つ 第10回用具展」を開催しました。出展は15社、来場者は350名、スタッフはボランティア・職員あわせて50名でした。

用具展では視覚障害者にとって便利な生活用品をはじめ、拡大読書器、パソコン周辺機器といったいずれも触って、あるいは音で確認や操作ができるものが展示されます。タイムリーな新商品から触読・音声時計などの定番まで、開催年ごとにその顔ぶれは変化します。

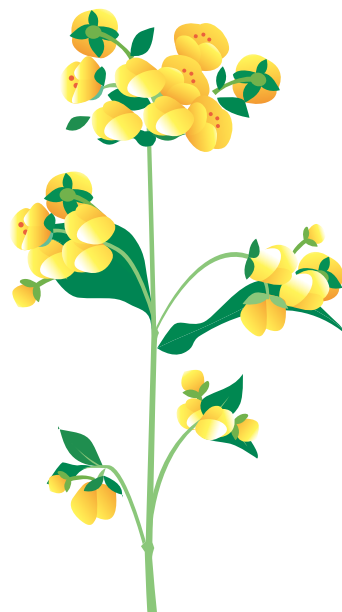
今回の目玉は…、まず会場です！過去9回は、盲学校体育館をはじめ比較的大きな会場でしたが、節目となる今年は狭いながらも勝手知ったる我が家・名古屋盲人情報文化センターを会場にしました。竜巻など悪天候が不安視された時期でしたが、テントを張った駐車場もアウトドアな会場に様変わりです。

展示品の目玉は二つ。ひとつが“盲導犬ロボット”を目指し開発中の「障害物回避先導ロボット」で、デモ機体験の整理券50枚はあっという間になくなる盛況ぶり。そして地デジ化の後、ラジオでテレビ

音声が聞けなくなった不便さを解消する「地デジ対応ラジオ」には長蛇の列ができました。移動と情報収集に関わるツールへは、尽きない期待がよせられるものです。

手前味噌ながら当センターの用具販売コーナーにも「列」ができました。通常の営業日と比較すると、5倍の100名近くのお客様、そして売上額も5倍にふくれました。点字用紙など日用品を買い求める方、白杖を手にとったり、簡易糸通し器や凸シールなどの使い方に耳を傾ける方。そして居合わせた人同士で日常生活の工夫を情報交換をされるという光景も見られました。

出展者には、来場者の「生の声」である率直な意見・要望が届いたはず。それらは何にも代え難いものであり、ますます快適で便利なモノが雨後の竹の子のごとく世の中に溢れ、選ぶのに困惑するくらいになって欲しいと切に願うものです。



瀬古マザー園



○平成 24 年度介護保険法改正について

平成 24 年 4 月、改正介護保険法が施行されました。今回の改正では基本的な視点として、地域包括ケア基盤強化、介護と医療の連携強化、認知症にふさわしいサービスの提供が謳われています。一方、介護報酬は従来型特養や通所介護にとっては実質マイナス改定と大変厳しい内容となりました。多様なニーズへの対応、施設的环境整備、人材育成など課題はありますが、今後も利用者の皆様や地域のニーズ把握に努め、安心してご利用いただけるサービスづくりに努めてまいります。

○庭造り環境整備プロジェクト（続報）

プロジェクト始動から約 2 年、ボランティア・限定業者のご協力や助言をいただきながら取り組みも軌道に乗りつつあります。

平成 24 年 6 月初旬現在では、道路まで延び放題になっていた施設を取り囲む桜やヤマモモ、けやき

などの剪定、目だけでなく香りも楽しめるハーブを中心にした植え替え、収穫も楽しみな夏野菜の植え込みなどの園庭リニューアル、養護・デイ棟南面では夏に向けて遮熱と省エネを兼ねたゴーヤの緑のカーテン準備などを順次行っています。今号が皆様のお手元に届く頃には、それぞれが施設を賑わしてくれていることと思います。

また、活動型の庭造りを目指す取り組みの一環として、マザー園の入所・通所サービスをご利用の皆様が広く参加していただける園芸クラブがいよいよ 6 月より始動。また、矢田マザー園デイサービスセンターでも瀬古での活動に負けじと園芸クラブがスタートしています。

今後も、利用者の皆様が草花や土、水に触れ、それらの匂いや感触、成長を楽しまれている様子や活動状況をご報告していきたいと思ひます。皆様もお立ち寄りの際はぜひ庭造りの様子をご覧ください。



助成事業に関する報告

平成 23 年度において、下記の助成を受け、就労支援事業をはじめとした設備・車両を整備いたしました。ここにご報告いたしますと共に、厚く御礼を申し上げます。

□日本財団より

光和寮
就労継続支援事業
印刷機
事業総額 7,996,000 円
助成金額 5,000,000 円



□日本財団より

明和寮
就労継続支援事業
車両整備
事業総額 898,570 円
助成金額 620,000 円



□日本財団より

盲人情報文化センター
点字出版事業
点字自動製版機
事業総額 7,413,000 円
助成金額 5,000,000 円



□ヤマト福祉財団より

明和寮
就労継続支援事業
パワーリフター
事業総額 1,050,000 円
助成金額 1,000,000 円

